

# J 通信

2010.04.03 号

Japan - Cup 1st 大変お疲れ様でした。

さて、ホームページの「お問い合わせ」や直接お尋ねが数件ありましたので、ご紹介すると共に皆様方のご意見をお聞かせ下さい。

## 1つ目の御意見

「ルールも変わらないのに審判講習会は、必要ない！ましてや参加者数でポイントを与えること等、無意味である。実力で勝てばいいだけ。」

## 2つ目の御意見

「お手伝いチーム制度も必要ない。役目を果たさないチームにマイナスポイントなんてナンセンス！」  
以上、二つのご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございます。

本大会開設当時から、競技性を重要視するということで発足したわけで、当初、ご尽力いただきました名誉顧問の園田弁護士、県ミニバレー協会の重鎮である河野氏を中心に、それまでの県ルールを基本として、より競技性を重視したルールをつくりスタートしました。

それが9年前のことですが、それから今日まで規定やルールは、毎年、競技がし易いように改訂しております。故に、規約&ルールは毎年変わっていますので念のために確認しておきます。

私も審判講習会を開催する労力、会場費を考えますとしたくはありませんが、・・・以下の理由でせざるを得ないのではないかと考えます。

1. 組合せ抽選会は、いつ、どのようにして行うのか？
2. ルール、規定が変わった場合、どのようにして伝達するのか？
3. 2のことを文書での言い回しが難しい場合、どのようにして伝達するのか？
4. 新規参加チームへの規約やルール説明方法？（新規チームへの思いやり）

ポイントについて

1. 代表者だけが規約やルールを知っていればいいのでしょうか？
2. ポイント制度をなくしたら参加者が激減することでゲーム中のトラブルも多くなり進行が遅れることにつながる？
3. 過去の例ですと、ほとんどポイントを加減算することでの順位移動は少ない。

お手伝いチームについて

この制度を設ける前は、限られたチームと役員諸氏が設営を行っていました。設営といっても1コートで2チームで行いますので時間的にも10分もあれば十分だと思います。

以上ですが、いい解決方法があれば、御意見をお聞かせ下さい。

また、今回、貴重な御意見を頂きました方に、あらためて感謝申し上げます。

御意見を、HP「お問い合わせ」若しくはメールで是非、お聞かせ下さい。お願いします。